

令和7年度鹿児島県図書館大会 事例発表テーマと発表概要

分科会	発表者	テーマ	概 要
1	鹿児島市立吉野小学校 教諭 篠崎 千賀 学校図書館司書 稲富 奈緒	資料活用能力を育てる図書館	大規模校では授業資料が不足しがちです。そのような状況でも、児童が自ら図書館等で必要とする資料を探し出す手立てやタブレットなどを活用した取組など、限られた資料を活用する学校図書館づくりを紹介します。
2	出水市立江内小学校 教諭 園山 るみ 教諭 片平 聡子	“読みたい”を引き出すために	子供たちの“読みたい”気持ちを引き出すための……。日々の教育活動の中で私たちができることは何か、続けられることは何か。試行錯誤の中で本校が取り組んだ、子供たちと本とを結ぶ取組を紹介します。
3	出水市立野田中学校 教諭 若松 智仁	むすびつながる読書指導	市の「読書活動日本一のまちづくり」に向けて、学校図書館と生徒会でどのような活動ができるかを考え、PDCAサイクルで取り組んできました。課題に向き合った5年間の活動の概要を紹介します。
4	県立国分高等学校 専門員 加治木 潤子	移転後の図書館で、生徒と図書館を むすぶために	新校舎への移転に伴い、図書館の周辺環境が大きく変わりました。そのような中、「生徒と図書館」、「生徒と資料」をむすぶためにできることは何か、学校や生徒の実態に合わせた取組と課題について発表します。
5①	出水市立西出水小学校附属紫翠幼稚園 主任 濱崎 由美子	感性豊かな子どもを育てる読書活動	「心身ともにたくましく、豊かな心・感性豊かな子どもを育成する」という園教育目標のもと、「読書活動日本一」のまちづくりを目指す出水市の園として積極的な活動を紹介します。
5②	松元公民館図書室ボランティア 茶々の会 東 博美 新福 郁子	つながり合う 読書活動	様々な世代の方とつながりながら、本への興味・関心をもってもらうのはもちろん、読み聞かせの時間が楽しくてほっとできる、そんな居場所になれるように心がけています。地域での私たちの取組の一端を紹介します。
6①	日置市立ふきあげ図書館 図書館係主幹 米森 真琴	市民と行政サービスをむすぶ	人口減少が急速に進む中、図書館の在り方を模索中です。地域包括支援センターと連携して図書館で“認知症カフェ”を実施したり、『筋ちゃん広場』で脳トレや配本を行ったりするなど行政各課と連携を取り、行政と市民をむすぶ取組を紹介します。
6②	志布志市立図書館 図書館グループリーダー（副館長） 田之口 俊博	市民が気軽に利用できる図書館を目指して	いつでも、だれでも気軽に利用できる図書館を目指して、図書資料の充実や本を身近に感じられる環境づくりと情報発信に努めながら、図書館ボランティアや学校及び関係機関等と連携した事業の取組について紹介します。